

浄泉寺通信

第8号
年4回発行
浄土真宗本願寺派
吉見布教所浄泉寺
埼玉県比企郡吉見町
久保田40-1
発行責任者 福井学誠

駆られ、次第に庁舎へ行くこともできなくなっていました。

たわずかこれだけの文字が美恵子さんを突き動かし、美恵子さんの寂しさや罪悪感に閉ざされていた心の扉を少しだけ開けました。感謝、謝罪、中傷、さまざまな言葉は、言葉を発したその人が死してもなお、はたらく続けます。美恵子さんは娘からの感謝の言葉を手紙で読み、「産まれてきてくれてありがとう」と涙ながらに何度も言ったことでしょうか。親を憎む子、子を嫌う親と言えど、産んでくれてありがとうと産まれてきてくれてありがとうの対話を望まな

東日本大震災から二年を迎えた報道のなかで、とても印象に残ったテレビニュースのリポートがありました。津波で中心部が壊滅的な被害を受けた宮城県南三陸町に暮らす遠藤美恵子さんは、津波で娘を亡くし、この2年間で、娘のことを思い出さない日はなかったといえます。「いまだに信じられないです。まさかわた

あれから2年、踏み出す一步を探し続けてきた美恵子さんは去年10月、自宅を整理をしていたときにあるものを見つけました。それは未希さんが未希さん自身に宛てて書いた手紙でした。「ぜんぜんこういうものがあるのも分からず、このまま整理しなければ見つけていなかったですね」。

母に届きました。「未希はわたしから産まれて本当によかったんだなって思っているのが、初めて分かったんですね。自分を責めていたのが、これを読んで本当に少しですけれど気が持ちは軽くなりました」。いま美恵子さんはボランティアたちと一緒に再開したワカメの収穫作業に携わっています。「その日その日精一杯、季節が変わればそのたびに未希を思い出して、楽しいことがあれば今日も悲しいことばかり報告するのではなく、これからこんなことがあったよって報告できるようにね、そういう生き方をしていかなければいけないんだなって感じています」。

しかしそれは誕生に始まり、死ぬまでの一生の間のこと。わたしが生まれる前と死んだ後もなおはたらき続ける感謝の言葉、それは南無阿彌陀仏の念仏です。南無阿彌陀仏とは阿彌陀如来の名前であり、はじまりがなく、終わりのもないわたしの全存在を認めてくださるはたらきそのものを指すと同時に、そのはたらきへのわたしからの感謝の言葉です。ゆえに、念仏はわたしと阿彌陀如来との、時空を超えた感謝の対話だと言えるのです。(住職)

だに信じられないです。まさかわたしたちより先にこういうこと(死ぬこと)になるなんて、想像もしていなかったです。人生のなかで有り得ないことでしたから」。

津波で 念仏は 阿彌陀様へのありがとう

日はずかこれだけの文字が美恵子さんを突き動かし、美恵子さんの寂しさや罪悪感に閉ざされていた心の扉を少しだけ開けました。感謝、謝罪、中傷、さまざまな言葉は、言葉を発したその人が死してもなお、はたらく続けます。美恵子さんは娘からの感謝の言葉を手紙で読み、「産まれてきてくれてありがとう」と涙ながらに何度も何度も言ったことでしょうか。親を憎む子、子を嫌う親と言えど、産んでくれてありがとうと産まれてきてくれてありがとうの対話を望まな

しかしそれは誕生に始まり、死ぬまでの一生の間のこと。わたしが生まれる前と死んだ後もなおはたらき続ける感謝の言葉、それは南無阿彌陀仏の念仏です。南無阿彌陀仏とは阿彌陀如来の名前であり、はじまりがなく、終わりのもないわたしの全存在を認めてくださるはたらきそのものを指すと同時に、そのはたらきへのわたしからの感謝の言葉です。ゆえに、念仏はわたしと阿彌陀如来との、時空を超えた感謝の対話だと言えるのです。(住職)

2年前の3月11日、町の職員だった娘の未希さんは町庁舎から最後まで避難を呼びかけました。「たいたいま当町に津波警報が発令されました。最大6メートルが予想されますので、急いで高台へ避難してください」。この呼びかけによって多くの命が救われましたが、未希さんは帰らぬ人になりました。娘が生まれたとき、未来への希望という意味を名前に込めたそうです。その娘に役場への就職を薦めたのは美恵子さんでした。そのことを思うと自責の念に

「人生って楽しいことばかりじゃないけれど、苦しいことやつらいことを乗り越えてほっとしたとき、い

「お母さん、わたしを産んでくれてありがとう」。亡くなる前に直接言いたかったろうし、美恵子さんも未希さんの口から聞きたかったことでしょう。それを思うと可哀そうでありませぬ。しかしその感謝の言葉はまったく色褪せず、手紙に書かれ

たわずかこれだけの文字が美恵子さんを突き動かし、美恵子さんの寂しさや罪悪感に閉ざされていた心の扉を少しだけ開けました。感謝、謝罪、中傷、さまざまな言葉は、言葉を発したその人が死してもなお、はたらく続けます。美恵子さんは娘からの感謝の言葉を手紙で読み、「産まれてきてくれてありがとう」と涙ながらに何度も何度も言ったことでしょうか。親を憎む子、子を嫌う親と言えど、産んでくれてありがとうと産まれてきてくれてありがとうの対話を望まな

浄泉寺コーラス 練習してます!

浄泉寺ではコーラス会が活動を始めています。会では京都・西本願寺の大きなお堂で歌うことを目標に、仏教讃歌、すなわち仏さまのお徳を讃える歌を目下練習中です。声楽家の手塚久美子さんにご指導をいただき、偶数月に定期的に浄泉寺に集まって練習しています。

西本願寺では毎年4月と11月の年2回、阿弥陀堂で合唱大会を開催するほど合唱に力を入れており、浄泉寺でも数年に一度の参加を目標に、大谷本廟へのご納骨や仏閣参拝も兼ねた旅行を予定しています。歌に自信がない方も気軽に参加ください。初心者、途中参加も差支えありません。



練習風景

盂蘭盆会のご案内

ご先祖を偲び、西方浄土へ想いをはせる盂蘭盆会を、東京築地の築地本願寺で勤修いたします。富山浄泉寺住職、埼玉浄泉寺住職ともに参ります。

法要後には築地本願寺「日本料理紫水」長島博料理長のオリジナル精進弁当をいただきます。とくに初盆の方は是非お参りください。

参加費3,000円(お一人様、法要懇志とお弁当代として)

- 7月15日(月・祝) 午前11時
- 築地本願寺(東京メトロ築地駅下車徒歩1分、無料駐車場あり)
- 法話 福井学誠(埼玉浄泉寺住職)
- 後日郵送の葉書でお申し込みください。

「浄泉寺の今後の活動」

- 4月1日(月)17時(毎週開催) 子ども素読塾
- まちカフエ(東武東上線東松山駅前)
- 4月2日(火)9時15分 ヨガサークルアマリタ
- フレスヨしみ(埼玉県吉見町)
- 4月7日(日)10時 わくわく子ども会・花まつり
- 浄泉寺本堂
- 4月7日(日)13時半 浄泉寺コーラス練習会
- 浄泉寺本堂
- 4月13日(土)13時 常例布教出講
- 正福寺(埼玉県新座市)
- 4月14日(日)12時 常例布教出講
- 圀景寺(埼玉県幸手市)
- 4月19日(土)13時 常例布教出講
- 延覺寺(千葉県佐倉市)
- 4月19日(金)19時(毎月開催) はじめての歎異抄講座(第17回、参加無料) フレスヨしみ
- 4月27~30日(4日間御修行) 親鸞聖人七百五十回大遠忌法要
- 5月11日(土)13時 常例布教出講
- 正福寺(埼玉県新座市)
- 5月17日(金)19時 はじめての歎異抄講座第18回) フレスヨしみ
- 6月8日(土)13時 常例布教出講
- 正福寺(埼玉県新座市)
- 6月21日(金)19時 はじめての歎異抄講座第19回) フレスヨしみ
- 7月15日(月・祝)11時 盂蘭盆会(お盆の法要)
- 築地本願寺(東京・中央区)
- 昨年実施して好評だったわくわく子ども会と花まつりを、4月7日(日)に開催します。今回も腹話術の方をお招きし、お餅つきをします。同日午後は浄泉寺コーラスの練習会です。今後偶数月に練習し、本年11月に本山・西本願寺へ合唱旅行を計画中です。また、7月15日(月・祝)に築地本願寺の一室をお借りして盂蘭盆会(お盆の法要)をお勤めいたします。とくに初盆の方は是非お参りください。詳しくは、お寺まで。TEL04933548803